

今日は週 1 回の「課題回収・配布日」でした。雨が降っていましたので、先週より登校が遅くなるのかな、と思っていましたが、皆さん先週と同じくらいの時間に登校しましたね。週 1 回でも皆さんの顔を見ると安心します。

私は正門に立って、登校時と下校時に「おはよう」「さようなら」と声をかけました。1年生もきちんと挨拶ができるようになってきました。嬉しいことです。そしてやはり3年生は元気いいですね。

なぜ挨拶をするのでしょうか。考えたことがあります？

「人を動かす」という本を書いたカーネギーの言葉に「人に好感をもたれたければ、誰に対しても挨拶をすることだ。挨拶ほど簡単でたやすいコミュニケーション方法はない。」という言葉があります。たしかにその通りだと思います。挨拶を笑顔でする人を「感じの良い人だ」と思うことがあります。挨拶の「挨」の字には「心を開く」という意味が、「拶」には「接近する」という意味があります。つまり「自分から心を開いて相手に近づく」というのが本来の意味になります。「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」……この意味は何？と聞かれても、？ですね。私の故郷では夕方になると「晩なりまして」と祖母などは言っていました。これなども晩(夕方)になりました、と言っているだけです。実に不思議な言葉です。挨拶の言葉は、それ自体意味をなす言葉ではなく、安心するためのものです。あなたは私の仲間ですよと伝えているのです。

誰でも挨拶されれば嬉しいです。それも笑顔でされると、とっても嬉しいですよね。

来週も笑顔で挨拶しましょう。もちろん家でも、ちゃんと挨拶してくださいね。



武道場で1組、3組



担任の先生と面談



第2美術室で2組

七中生へのメッセージ（5月19日）

休校期間が続いています。

毎週火曜日にみなさんと会える日が、なんと待ち遠しいことか。

心が乾いていませんか？ 笑っていますか？

「そうそう、あるある」「くすっ」「ほっこり」の川柳（せんりゅう）を紹介したいと思います。気持ちをほぐしてくださいね。

- ・ふと思う 当たり前 ありがたさ
- ・自己採点 何度やっても 変化なし
- ・学期末 私のテストは 世紀末
- ・火山より 母の噴火に 要注意
- ・リスニング 聞き逃したら フィーリング
- ・ない時に 限ってやりたい 部活動
- ・知らないよ 提出期限 今日なんて
- ・あしたやる やるやる詐欺は 得意技
- ・ランニング 先生いないと ウォーキング
- ・読めぬのは 漢字と空気 どちらとも
- ・オレオレと 祖母にかけると 切られちゃう
- ・散歩して 母より犬が やせてきた
- ・受験まで 時間と不安は 反比例
- ・優秀な 人の消しゴム 長持ちだ
- ・百人の 友達いないが 君がいる

（高校生川柳 作品より）

1年社会科 長澤和美

休校延長で「さすがに勉強とか、何かやらなきゃ、でも何をやればいいのか？」と焦っているみなさん。

そんな時は読書です。読書と暗記は「脳の筋トレ」と言われ、脳を活性化してくれます。

あとはテレビのような視覚を使うメディアではなく、ラジオのような聴覚を使って「想像する」メディアの方が、脳の活性化にはいいと言われています。ぜひお試しを。

「読書といっても何を読めばいいのか？」そう言われると思いました。

どうせ読むなら、これからの勉強に役立って、楽しめる本がいいですね。

ということで、今回紹介したいのは『小説十八史略』（陳舜臣著／講談社文庫）。これは中国の伝説の時代から明王朝の時代までの歴史をまとめた史書「十八史略」を、小説化したもので、わかりにくい中国の歴史が、楽しみながら頭に入る優れたものです。

さらに余裕がある人は、『桃尻誤訳 枕草子』（橋本治著／河出文庫）や『あさきゆめみし』（大和和紀作／講談社コミックス）、「まんがで読破」シリーズ（日本の名著を漫画化したシリーズもの／イーストプレス）など、とっつきにくい日本の古典文学や近代文学のあらすじを、簡単な文章や漫画で頭に入れておくのも、役に立つはずです。

どうせ読むなら勉強に役立ちそうな本を。こんな欲張りなみなさんの思いに応えてくれる本だと思います。ぜひ読んでみてくださいね。

渡邊 拓